

# くしろ市議会だより

News from Kushiro City Assembly

くしろ市議会だより  
2022年11月 No.76

委員会審査ピックアップ……………1P  
本会議(質疑・一般質問)……………2P  
委員会審査ほか……………3P  
定例会審議結果ほか……………4P

くしろの市民の皆さんと  
くしろ市議会の  
懸け橋となる情報紙



令和4年9月定例会が開催されました。今議会の概要をお伝えします。

Pick Up!

## 令和3年度の市の決算を認定



9月21日、総務文教分科会書類審査  
(担当職員から事業内容などの説明を受けます)

### 予算決算常任委員会

酒巻 勝美 委員長

今定例会の予算決算常任委員会は、補正予算に関する審査のほか、令和3年度の決算に関する審査を行いました。

#### 補正予算審査の主な項目

- プロスポーツ支援事業の補助対象
- 市内小中高等学校のトイレ洋式化
- 小中学校、保育所等の給食費等支援事業
- 阿寒湖畔スキー場の自動改札機導入事業
- 水道基本料金及び下水道基本使用料の免除
- 保育士等の処遇改善
- 児童福祉施設の衛生環境整備
- 高齢者世帯等生活支援給付金支給事業の支給対象

今回は各分科会の決算審査の中から注目する内容をご紹介します。

総務文教分科会

### 「不登校児童生徒への支援体制」

**Q** 市内の小中学校で不登校児童生徒が急増し、全国・全道平均よりも高い数値となっている。不登校対策の機能を集約するための担当主幹を新たに配置するなど、日常的に専門的な対応ができるように支援体制の強化を図る必要があるのではないか。

**A** 今年度スクールカウンセラーを10名から12名に増員し、すべての学校に派遣できるようになったことや、今年公認心理師を取得した指導主事がいるなど、不登校児童生徒への対応は、居場所づくりも含め、都度取り組みを見直し、充実を図りながら進めている。

経済建設分科会

### 「既存住宅耐震改修費補助制度の利用促進と制度の改善について」

**Q** 釧路市耐震改修促進計画に基づき実施している、無料耐震診断の件数に対し、既存住宅耐震改修費補助制度の利用が少ない状況と思われる。補助金額が1件につき45万円と少ないことが、利用が進まない理由かと思うが、ニーズに合った適切な制度となるよう、北海道に対しても要望等を行い、制度を改善していく必要があるのではないか。

**A** 耐震性の確保や補助制度については、無料耐震診断を行った際にも案内し、利用促進に努めている状況であり、今後もニーズに合った制度となるよう改善に努めたい。

民生福祉分科会

### 「アイヌ共同納骨堂の管理委託について」

**Q** 委託料が非常に低額であり、十分な管理や修繕を行うには難しい金額ではないかと感じる。実際に、施設では雨漏り等補修が必要な部分があるという話も聞いているが、市として十分な管理責任を果たしていると考えているか。

**A** 委託料については釧路アイヌ協会との間で合意を図って契約してきた経過がある。昨年度は敷地内整備に関する要望に対応したが、今後、業務の実態について詳しく確認するとともに、技術職員と共に老朽化の状況をしっかりと把握しながら、適切な対応について検討していきたい。

### 議会の豆知識 決算審査とは？

議会は市長から提出される予算案を審議し議決しますが、予算が実際にどのように使われたのかを改めてチェックするのが決算審査です。審査を通じて明らかになった財政運営の問題点を、翌年度の予算や将来の財政運営に反映させるという重要な役割を担っています。

本会議

**提案説明**  
市から提出された決算議案の内容について説明を受けます。

予算決算常任委員会

**監査講評**  
監査委員から決算審査の結果と決算に対する意見を聞きます。

**分科会審査**  
分科会で決算の内容を詳しく審査します。

本会議

**市長総括質疑**  
各分科会から審査結果の報告を受けた後、市長に総括的な質疑を行います。

**採決**  
決算議案を認定するか否か採決します。

次回の12月定例会は12月7日(水)午前10時から開会の予定です。



# 本会議

質疑・一般質問

■議員14名が、付議議案や「市の一般事務」について、日頃から感じている疑問や、新たな行政課題への対応など、それぞれの視点でテーマを決めて質問しました。

## 9月7日(水)



共産党  
西村 雅人  
議員



「ピースロード歓迎行事への参加について」

**問** 社会的な問題を起こしている世界平和統一家庭連合が関与しているイベントに出席するなどの関わりを、市は一切断つべきだと考えるが、市長はこのような団体とつながりを持つことについて、どう考えているのか。

**答** 公務については、行事やイベントの案内があれば基本的に市として出席している。同団体は宗教法人であり、当時は公務と判断して出席した経緯があるが、今後は社会的に問題が指摘されている団体には、慎重な対応が必要だと考えている。



公明党  
松原 慶子  
議員



「部活動の地域移行に対する考えは」

**問** 令和5～7年度が休日の部活動の段階的な地域移行に向けた改革集中期間とされているが、教育委員会としてどのように考えているのか。また、子どもたちがスポーツや文化芸術活動ができる体制を将来にわたって維持していけるよう取り組んでほしい。

**答** 部活動の地域移行による、教員の業務負担軽減は、本市でも必要な取り組みと考えるが、国等からは財源措置等の詳細な情報が示されていないことから、今後も動向を注視したい。また、小中学校に対する文化芸術活動の支援に引き続き取り組んでいきたい。



自政ク  
山口 光信  
議員



「道の駅阿寒丹頂の里の運営についての見解は」

**問** 阿寒丹頂の里エリアは、(株)阿寒町観光振興公社いわゆる第三セクターの運営となっているが、活性化を図るには限界がきていると思う。運営についての見解と民間運営の必要性について聞きたい。

**答** 現在、道の駅の運営は指定管理者となっているが、プロポーザル方式での選定のため、現指定管理者だけに限定しているものではない。今年設立された「阿寒丹頂の里活性化協議会」等とも議論をしながら、阿寒地域の活性化に向けてテンポを上げて進めていく。



市民連合  
岡田 遼  
議員



「パートナーシップ制度の導入を」

**問** <sup>※1</sup>LGBTQなど性的少数者カップルを婚姻相当と認める「パートナーシップ制度」だが、当市は導入に向けた取り組みが道内他都市と比べて遅れている。一步踏み出すべきだと考えるが見解を聞きたい。

**答** この制度の導入に向けては、多くの市民の理解や細かい仕組みづくりも必要となることから、今後も他都市の状況にも注視しながら、しっかりと議論をし、制度化に向けて検討していきたい。

## 9月8日(木)



共産党  
工藤 正志  
議員



「必要に応じた校則の見直しを」

**問** 教員用の「生徒指導提要」が改訂されたことを契機に、市内の小中学校・北陽高校で、児童生徒と先生などとの間で議論をし、必要に応じて校則を直すべきと考えるが、見解を聞きたい。

**答** 校則は適宜見直す必要があると考えており、その際は児童生徒が主体的に関わりながら教職員も交えて議論しあう機会を設け、進めていくことが重要である。現在、市内の中学校においては、校則検討委員会を立ち上げ、見直しについて検討を始めているところもある。



公明党  
河合 初恵  
議員



「就労に時間的な制約のある人が安心して働ける環境づくりを」

**問** さまざまな事情で、フルタイムで働きたいが働けない人が多い。「塩尻オリジナル就労支援モデル」事業のように、経済の中に福祉の要素を取り入れて、安心して働ける環境をつくっていくべきと考えるが見解を聞きたい。

**答** 社会課題の解決のために就労支援を進めてきているが、これからは釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizとも相談するなど、違う観点からもできることを考えていきたい。



自政ク  
金安 潤子  
議員



「防災の観点を重視したまちづくり計画を」

**問** 当初、防災の観点からスタートした鉄道高架を基本とするまちづくり計画だが、人と公共交通が中心のにぎわいづくり、拠点づくりへと方向転換されている。市民の命最優先のまちづくりという原点に立ち返るべきではないか。

**答** この計画は、防災の視点から議論がスタートし、都心部を車優先から人と公共交通中心の空間に変える基本的な考え方や、防災にも資する道路網の検討を進めてきたものであり、今後もご理解いただけるよう説明を重ね、実現に向けて努力していきたい。



市民連合  
宮田 団  
議員



「香りによる健康被害の軽減策を」

**問** 洗剤や柔軟剤などに含まれる合成香料によって健康被害が生じる香害について、ポスターの設置など市民の理解を深める取り組みを進めるべきではないか。

**答** 国の複数省庁の連名による香害に関するポスターを、関係部署を通じ所管施設への掲示を呼び掛けていく。また、香りによる化学物質過敏症に対する理解を深めていくことが重要であり、今後も引き続き関係部署と連携しながら、情報収集と市民への情報発信に努めていきたい。

## 9月9日(金)



共産党  
村上 和繁  
議員



「義務教育学校になった場合の教員数は」

**問** 釧路市がめざす学校のすがた基本計画(素案)で示された、「春採中・桜が丘小・興津小」、「桜が丘中・朝陽小・東雲小」の、令和4年5月1日現在と義務教育学校になった後の普通学級の教員数を示してほしい。

**答** 「春採中・桜が丘小・興津小」は合計32人で、本計画で用いた推計値の最終年度である令和10年度は、合計24人となり、現在と比較して8人減となる。「桜が丘中・朝陽小・東雲小」は合計26人で、義務教育学校になった場合の推計値は19人となり、現在と比較して7人減となるが、これは、あくまで試算であり、加配教員数は含まれていない。



公明党  
秋田 慎一  
議員



「白糠町への道立広域公園早期整備の管内連携は」

**問** 市は、市役所本庁舎正面に「白糠町に道立広域公園の早期整備を！」との横断幕を掲げたが、管内との連携など、今後どのような取り組みを行うのか。

**答** 釧路管内への道立広域公園の設置については、現在、白糠町と北海道での協議が進められている。公園の設置は、釧路市民にとっても子育て環境の充実や憩いの場の提供へとつながることから、管内全体で連携しながら、釧路地方総合開発促進期成会での要望を引き続き行っていくほか、市民の皆様の意識、機運の醸成に向けて取り組んでいきたい。



自政ク  
続木 敏博  
議員



「災害発生時の避難では車使用の禁止を」

**問** 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害想定が示された。皆が一斉に車で避難すると渋滞になることが考えられる。市として、避難時には車の使用を禁止するべきではないか。

**答** 現在、市民の皆様には避難困難地域を除き、徒歩による避難をお願いしている。引き続き、徒歩避難の重要性について、さまざまな手法により周知の徹底に努めていきたい。



共産党  
梅津 則行  
議員



「子どもの医療費助成の拡充を」

**問** 道内35市の中で、小学生以上の通院費の助成をしていないのは、釧路市を含め3市である。函館市は来年4月から高校生までの通院・入院費が無料となる。見劣りしないように拡充するべきではないか。

**答** 子どもの医療費助成などの社会保障制度は、国の施策により、どこに住んでいても同様の負担であることが望ましいと認識している。その中で、子どもの医療費において、入院については発生が突発的で負担も大きいことから、昨年8月から高校生までの入院医療費の無料化を実施したところである。

② 議員名の右に掲載しているQRコードから、スマートフォン等により録画中継をご覧いただけます。

市議会ホームページで発言通告  
一覧をご覧ください。



創志会  
大越 拓也  
議員



「郷土愛を育む環境教育を」

**問** 当市は世界に誇れる自然豊かな地域だが、猛禽類やタンチョウ、マリモを一度も見ることなく義務教育課程を終えた子が大半いる。そこで今年8月に、ひがし北海道ブランド化推進協議会など民間団体と共催し、鳥取小学校の児童を対象に釧路湿原国立公園体験ツアーを実施した。こうした民間主体の活動に行政が連携することで、さまざまな可能性を見いだすべきではないか。

**答** これまでも出前講座やSNSなどを通じて環境教育に取り組んできた。今後も民間団体等の動きを情報収集し、連携可能な事業は実現に向け働きかけていきたい。



創志会  
畑中 優周  
議員



「都市型森林再生事業の実施状況は」

**問** カーボンニュートラルに向けた取り組みのうち、国立公園で育成された種苗を、市街地の企業敷地に住民や企業と共同で植樹する「都市型森林再生事業」の実施状況を示してほしい。

**答** 同事業は、釧路湿原国立公園の釧路市エリアにおけるゼロカーボンパークとしての取り組みのひとつで、環境省が釧路湿原自然再生事業で育成した苗木を、市街地の企業敷地等に植樹するものである。現在、(株)釧路火力発電所の協力のもと、地域住民や興津小学校の児童などの参加をいただきながら、植樹に向けた準備を進めている。

用語解説

※1 LGBTQ

(市民連合 岡田議員)

レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人)、クエスチョニング(自分自身のセクシュアリティが決められない、分からない、または決めない人)など、性的マイノリティ(性的少数者)を表す総称のひとつ。

※2 ゼロカーボンパーク

(創志会 畑中議員)

環境省が提唱する国立公園の脱炭素化を目指すとともに、脱プラスチックも含めて持続可能な観光地づくりを実現していくエリアのこと。

委員会審査

今定例会では、1面に掲載した予算決算常任委員会以外に、3常任委員会および2特別委員会の審査を行いました。審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

三木 均 委員長

「情報格差対策」  
市民のための取り組み強化を

**Q** 情報格差を生じさせないためには、情報を受け取る市民がスマートフォンを所持し、操作できるように支援する取り組みが必要である。例えば、高齢者へのスマートフォンの普及を推進するために、購入費の一部を助成することなども検討してはどうか。

**A** 情報格差を解消するための取り組みの第一歩として、スマートフォン教室を9月から来年1月まで市内40カ所の会場で開催するが、その中で新たに見えてくる課題もあると考えている。スマートフォンの利便性を知ってもらうためにどのような手法が効果的か、専門家などの意見も取り入れながら議論し、さまざまな情報を収集して対策を検討していきたい。

経済建設常任委員会

秋田 慎一 委員長

「釧路海域での養殖ギンザケ実証実験」  
中間報告

**Q** 釧路市養殖事業調査研究協議会で実施している養殖ギンザケ実証実験は、1kg程度の種苗を3kg程度に育てる予定と聞いている。今後、卵や稚魚の時期から養殖を始める可能性があるのかなど、将来的な養殖事業の考え方について聞きたい。

**A** 現在の実証実験は、(株)ニチモウの協力により3年間実施される。この期間においては、当初の考え方で進めていくことになるが、実証実験後は、同協議会の中で、養殖を始める種苗の生育時期などについて検討されていくものと考えている。最終目標である事業化に向け、成功事例の調査など、釧路に適した養殖事業を探っていきたい。

民生福祉常任委員会

佐藤 勝秋 委員長

緩和ケア病棟の病床数及び人員配置について

**Q** 緩和ケア病棟の運用について、当初予定していた21床という病床数は、それだけのニーズがあるということか。また、開始時は医師1名体制により14床で運用されるとのことであるが、人員確保のめどは立っているか。

**A** 令和2年8月の開設委員会で、緩和ケア担当医師は、管内では21床運用するだけの患者のニーズがあるとの認識であった。また、人員確保については、道内の大学において緩和ケア内科に係る医局がないため難しい面もあると聞いているが、多方面の情報を入手して配置に努めていくとともに、人員確保が難しい場合は、病院内の医師の体制も検討していく。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

月田 光明 委員長

釧路コールマイン(株)におけるゼロカーボン構想の推進を

**Q** 釧路コールマイン(株)では、ゼロカーボン構想に基づき、二酸化炭素の利活用に向け、さまざまな実証実験を行っているとのことである。ぜひ積極的に進めてほしいが、市としてどう考えているのか。

**A** 現在、国では二酸化炭素を炭素資源と捉え、これを回収して多様な炭素化合物として再利用するカーボンリサイクルを推進している。ゼロカーボン構想は、石炭の利用から、それを使って排出される二酸化炭素の利活用までを考えるもので、石炭産業の理解と安定化につながるものであることから、構想の推進に必要な情報の収集に努めていきたい。

都心部市街地整備特別委員会

大澤 恵介 委員長

釧路都心部まちづくり計画  
「中心市街地活性化に向けた具体的な対策を」

**Q** 「都心部まちづくり計画と連動した中心市街地活性化に向けた取組」に関し、前委員会後の検討状況や方向性について聞きたい。

**A** 中心市街地の活性化に関して、意見交換の場などで市民からさまざまなご意見を伺っているところである。それらを踏まえ、今後、どのように取り組んでいくのか、十分に時間をかけ検討しているところである。



議員とおしゃべりしませんか! 議会報告会を開催します。

「市民にわかりやすい開かれた議会」を目指して実施しているもので、今年は、グループに分かれて議員と気軽に話す時間帯と、参加者を原則40代までとする若い世代向けの会場を新たに設けました。

当日参加も可能ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により収容人数が制限される場合もありますことから、電話やメールでの事前申込をお願いします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。(参加無料)



昨年の議会報告会の様子

開催日	時間	会場
10月28日(金)	18:30~20:00	コア鳥取
10月31日(月)	*19:00~20:30	釧路市役所 (参加者は原則40代まで)
11月 1日(火)	18:30~20:00	音別町コミュニティセンター
11月 2日(水)	18:30~20:00	阿寒町公民館
11月 4日(金)	10:30~12:00	中央図書館

\*10月31日(月)の時間は、8月号のご案内から変更になっています。

参加申し込み・お問い合わせ

TEL 31-4581 (議会事務局)  
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp



右のQRコードからメールで申し込むこともできます。

会派略称説明

自政ク 自民市政クラブ  
創志会 創志会

公明党 公明党議員団  
共産党 日本共産党議員団

市民連合 市民連合議員団

## 令和4年第4回9月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決（認定・同意・承認）となったもの（33件）

市長提出議案		議員提出議案	
予算	令和4年度 後期高齢者医療特別会計補正予算	条 例	病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
	令和4年度 介護保険特別会計補正予算		国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例
	令和4年度 駐車場事業特別会計補正予算		建築基準法施行条例の一部を改正する条例
	令和4年度 動物園事業特別会計補正予算		特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
	令和4年度 病院事業会計補正予算	そ の 他	和解成立の件
	令和4年度 水道事業会計補正予算		訴えの提起の件
	令和4年度 一般会計補正予算(議案第78号)		市道路線の認定の件
	令和4年度 下水道事業会計補正予算		男女平等参画センターの指定管理者の指定の件
令和3年度 工業用水道事業会計決算認定の件	夜間急病センターの指定管理者の指定の件		
令和3年度 公設地方卸売市場事業会計決算認定の件	水産団地汚水処理場の指定管理者の指定の件		
職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例	河畔駐車場及び錦町駐車場の指定管理者の指定の件		
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	湿原の風アリーナ釧路の指定管理者の指定の件		
条 例	職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	人 事	教育委員会委員の任命について同意を求める件
	手数料条例の一部を改正する条例	諮 問	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
	阿寒町コミュニティ施設条例の一部を改正する条例	専決処分	専決処分報告の件(令和4年度一般会計補正予算)
議員提出議案			
意見書	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書(提出先:財務大臣ほか4大臣)		
	コロナ後遺症及びワクチン後遺症への対応強化を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣、内閣官房長官)		
	世界平和統一家庭連合(旧統一協会)の霊感商法などによる被害者を救済するとともに、政治との癒着を究明することを求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣)		

◎ 賛否が分かれたもの（8件）

○賛成 ×反対

市長提出議案		議員提出議案					
件名	会派名[( )内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5)	市民連合(5)	創志会(3)※	共産党(4)	審議結果
予算	令和4年度 一般会計補正予算(議案第46号)	○	○	○	○	×	可 決
	令和3年度 各会計決算認定の件	○	○	○	○	×	認 定
決 算	令和3年度 病院事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	認 定
	令和3年度 水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	認 定
	令和3年度 下水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	認 定
	令和3年度 港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	認 定
議員提出議案							
意見書	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣)	○	○	○	○	×	可 決
	安倍晋三元首相の「国葬」について国会で徹底した審議を行うとともに、甲意の強要を行わないことを求める意見書	×	×	○	×	○	否 決

※自政クの議員数は9人ですが、松永議長が採決に加わっていないため8人としています。また、創志会の議員数は4人ですが、うち1人が本会議を欠席したため3人としています。

あの質疑のその後 —議論の第一歩は議会から!—

### 【釧路市養殖事業調査研究協議会の設立】

**水産増養殖事業に関する過去の様々な議会議論**

- 育てる漁業についての展望は？
- 近隣町村と連携した増養殖事業の推進については？
- 増養殖事業の課題点の明確化、魚種の選定、漁業従事者との意見交換をどう進めるか？
- 増養殖事業の拡大に取り組むべきでは？

**民間部門や他市の動き**

- ・根室市ベニザケ養殖協議会による海面養殖実証試験の開始
- ・釧路商工会議所青年部による「釧路地域における水産養殖事業の可能性について」の例会の開催

**2021年(令和3年)12月定例会 本会議**

**Q 新たな養殖事業について部会を立ち上げ、議論をしてはどうか？**

**A** 生産者の意向が第一。まずは水産業界と連携し、地域の特性を考慮した調査研究に取り組むとともに、進め方の検討を行いたい。

**2022年(令和4年)4月 釧路市養殖事業調査研究協議会の設立**  
(釧路市、釧路水産協会、漁業協同組合、試験研究機関、商工会議所など11団体)

**2022年(令和4年)9月定例会 養殖ギンザケ実証実験の開始(7月~)が議会に報告される**  
(この養殖ギンザケは、9月9日に初水揚げされ、市内の量販店や回転すし店にも提供されたとのことです。第3面の経済建設常任委員会審査の記事もご覧ください。)

**民生福祉常任委員会 市内視察**

民生福祉常任委員会では、9月22日(木)に市立釧路総合病院に新設された緩和ケア病棟を視察しました。

初めに緩和ケア病棟の役割や対象患者、診察内容などについて説明を受け、その後、病棟内を見学しました。病棟内は患者本人が快適に過ごせるだけでなく、家族との交流も行えるさまざまな機能が整っており、患者が直面する体と心の苦痛を和らげることを目的とした病棟となっていました。

